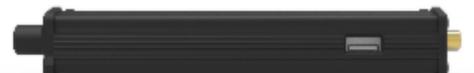


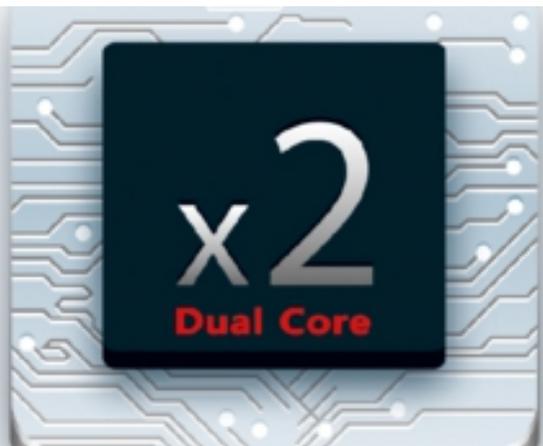
HDSD

HI-SPEED
USBTM

BLACK LABEL



True Native®再生



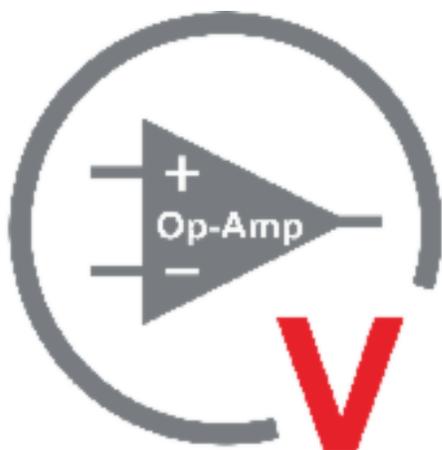
核となるのはデュアルコア・パーブラウンの心臓です。

3D+®とXBass+®の最新バージョン



アナログ信号処理回路が新しく改良されました。

カスタム・オペアンプ



ここまでやれるのはiFiだけです。

並外れた部品品質



可能な限りMELF、COG、Sanyo OS-CONを使用しています。

iFi micro iDSD Black Labelは、iFi microシリーズの最新のフラッグシップです。

その心臓部では、ヘッドフォンアンプとともにパーブラウンDSD512/PCM768/DXD2× True Native® DACが今も鼓動しています。

Black Labelは美しい外観を持っていますが、内部はもっとすばらしいのです。最新の部品を使用して音質を向上させることに頑固なまでの注意が払われているのです。

- DACのデジタル信号セクションとデジタル電源セクションをアップグレード。
- フェムト秒レベルの精度を持つAMR Global Master Timing®クロックシステムをさらにアップグレードし、「超低」フェーズノイズ&ジッターを実現。
- アナログ信号セクションと電源セクションを改良。
- 3D+®のパフォーマンスをチューニングし、XBass+®のパフォーマンスをチューニング。
- 最新の出力安定化ネットワークによって歪みを低減。

micro iDSD Black Labelが、今、最高の状態に進化したのです。



ハイレゾを超えるハイレゾ – DSD512/PCM768/DXD2×

micro iDSD Black Labelは、前モデルの無比の性能を引き継いでいます。つまり、MP3からDSD512/PCM768/DXD2×に至るまで、すべての音楽フォーマットをTrue Native®で再生する能力を持っているということです。

バーブラウン製チップセット×2



使用しているバーブラウン社のDACチップは、バーブラウン・ジャパンの最後のチップセットでした（とはいえ、合併後に発表されたのですが）。このチップセットはバーブラウンの「白鳥の歌」であり、そこにはコンバーター・テクノロジーのすべてが盛り込まれています。音楽性という点では無比の存在であり、iDSD Black Labelを含むiFi製品の黒柱となっています。そして、まもなく発売になる注目の新製品Pro iDSDでも使用することになっています。特別なDual-Core Burr-Brown native DSD/PCMチップセットを心臓部に持ったmicro iDSDは、トウルレーネイティブPCM768、Octa-Speed DSD512、2×DXDを扱う能力を持っています。まったくこの世のものとは思えない仕様です。

PCM
Pulse Code Modulation

DXD 2X
1X
Digital eXtreme Definition

DSD 8X
4X
2X
1X
Direct Stream Digital

Quad-DSD256 Octa-DSD512

11.2_{MHz} 12.4_{MHz} 22.6_{MHz} 24.6_{MHz}

352.8_{kHz} 384_{kHz} 705.6_{kHz} 768_{kHz}

3D+

3D+®とXBass+®

XBass+

3D+®とXBass+®の最新バージョンは、音楽の楽しみをさらに増すと高く評価されているテクノロジーです。広大な音場と、より深く、より引き締まった低音によって、これまで以上に魅力的で、満足のいく音に仕上がっています。

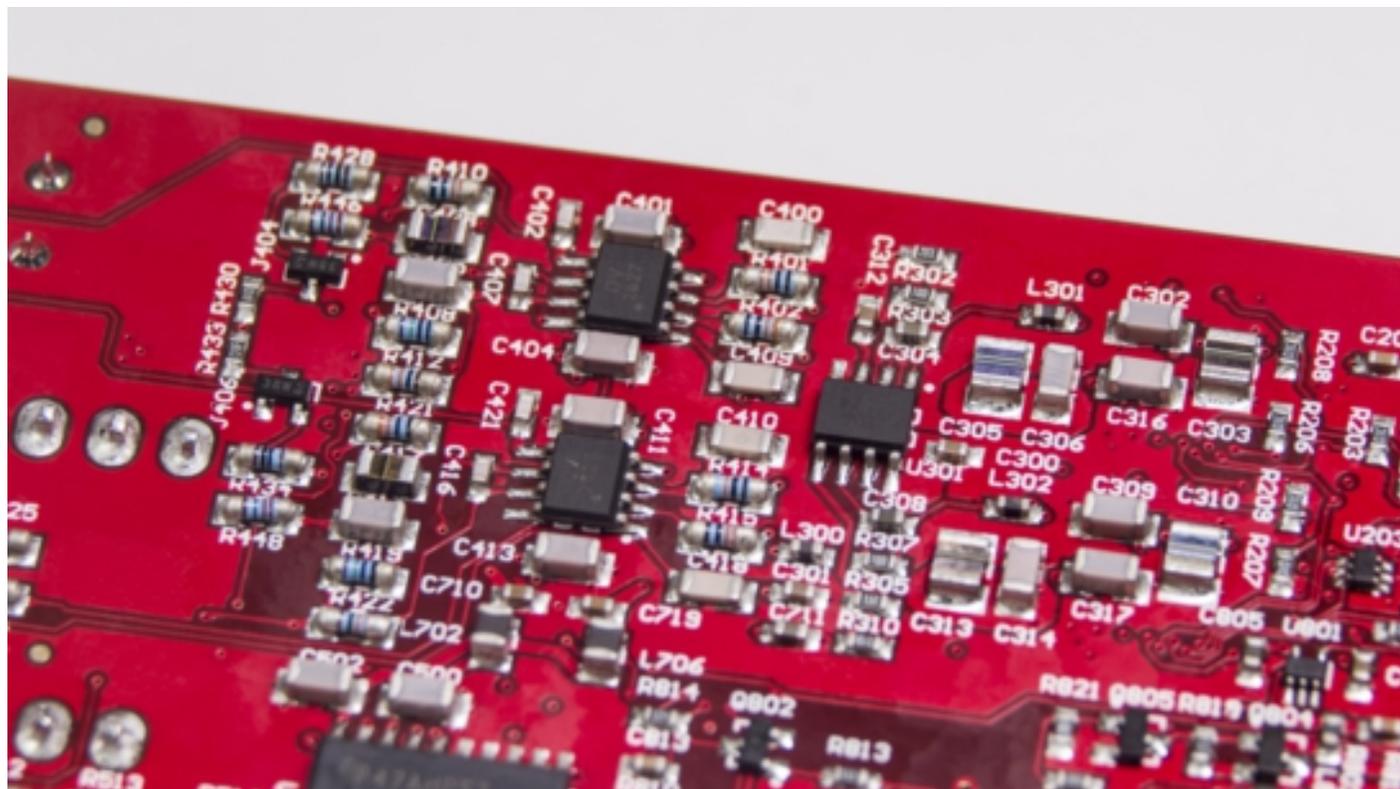
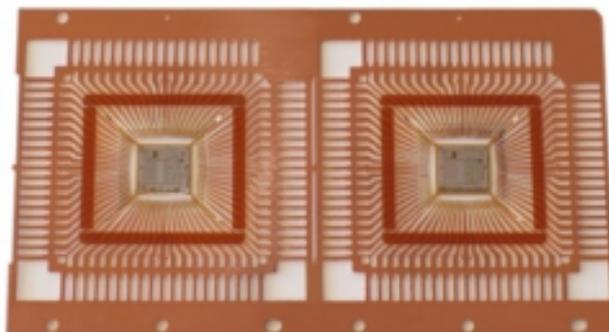


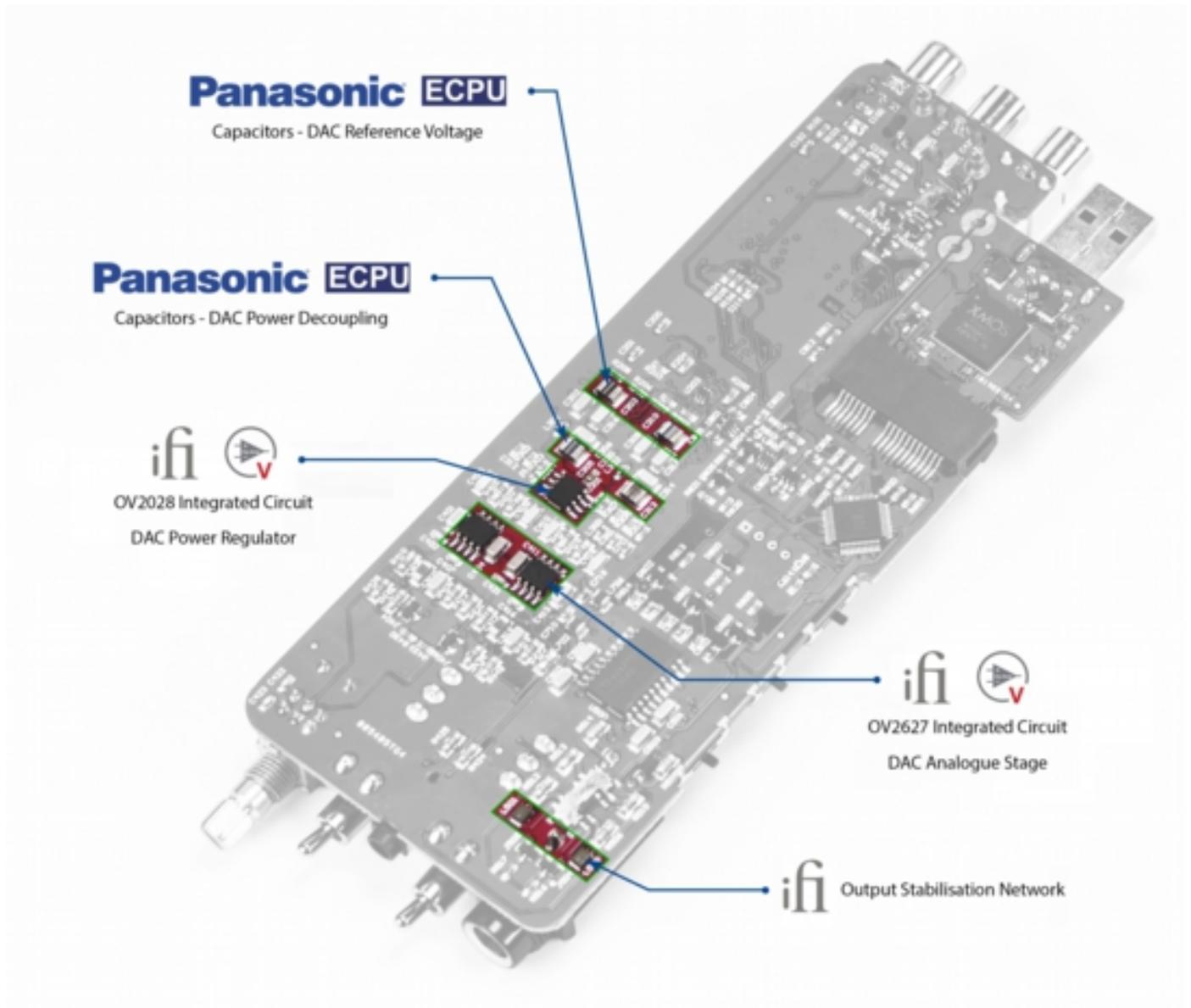


Operationsverstärker (オペアンプ)

iFi/AMRの「OV」シリーズは、Operationsverstärker（オペアンプを意味するドイツ語です）を意味します。「OV」シリーズのICはHCOFCの銅製リードフレームと4Nゴールド・ボンドワイヤーを使用していますが、これらは主流の商用チップ（安価なアルミ製ボンドワイヤーと、グレードの低い低価格の銅製リードフレームを使用しています）よりもはるかに先を行っています。

この仕様は、めったに見ることがありません。ウェーハー（薄いシリコン基盤）の段階で特別にチップを埋め込まなければならず、また、最低注文数の要求が高いからです（パーツごとに最低でも3万個を購入しなければなりません）。micro iDSD Black Labelに使われている「他を超えた」部品には、ささやかながらこういった見識があるのです。





刷新されたキーデバイス (PCB裏側)

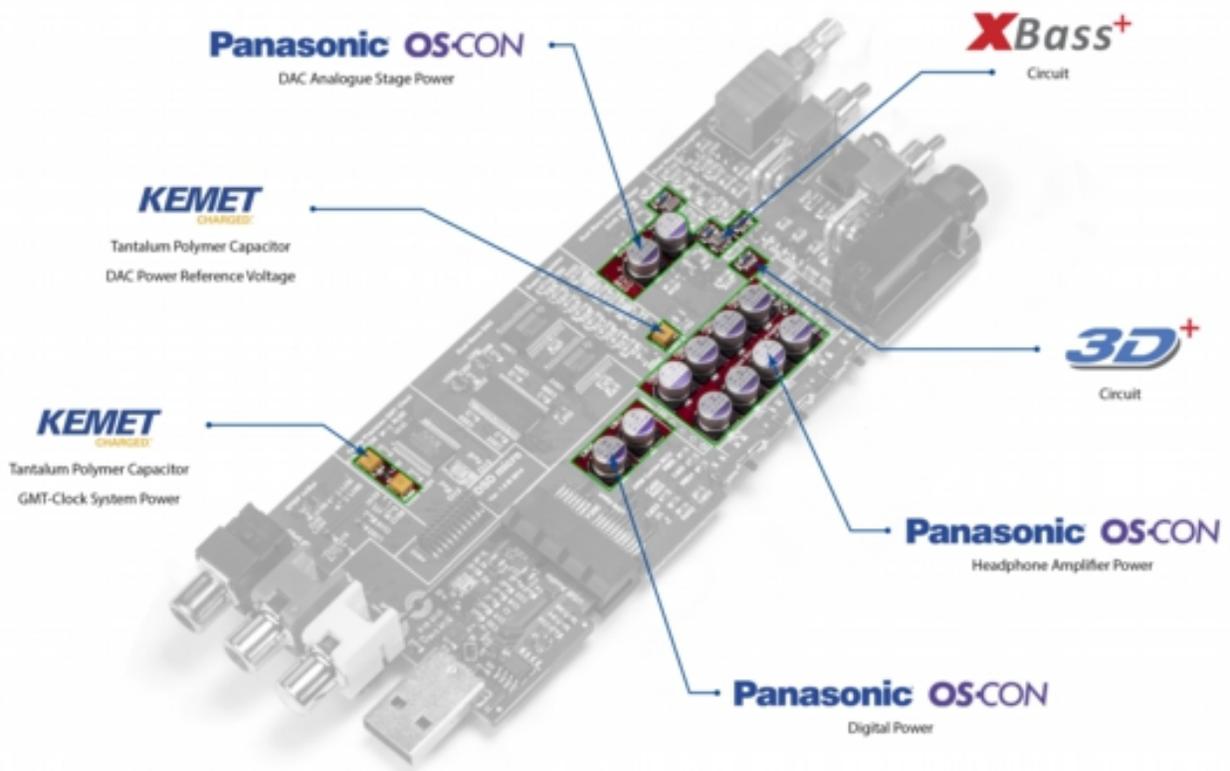
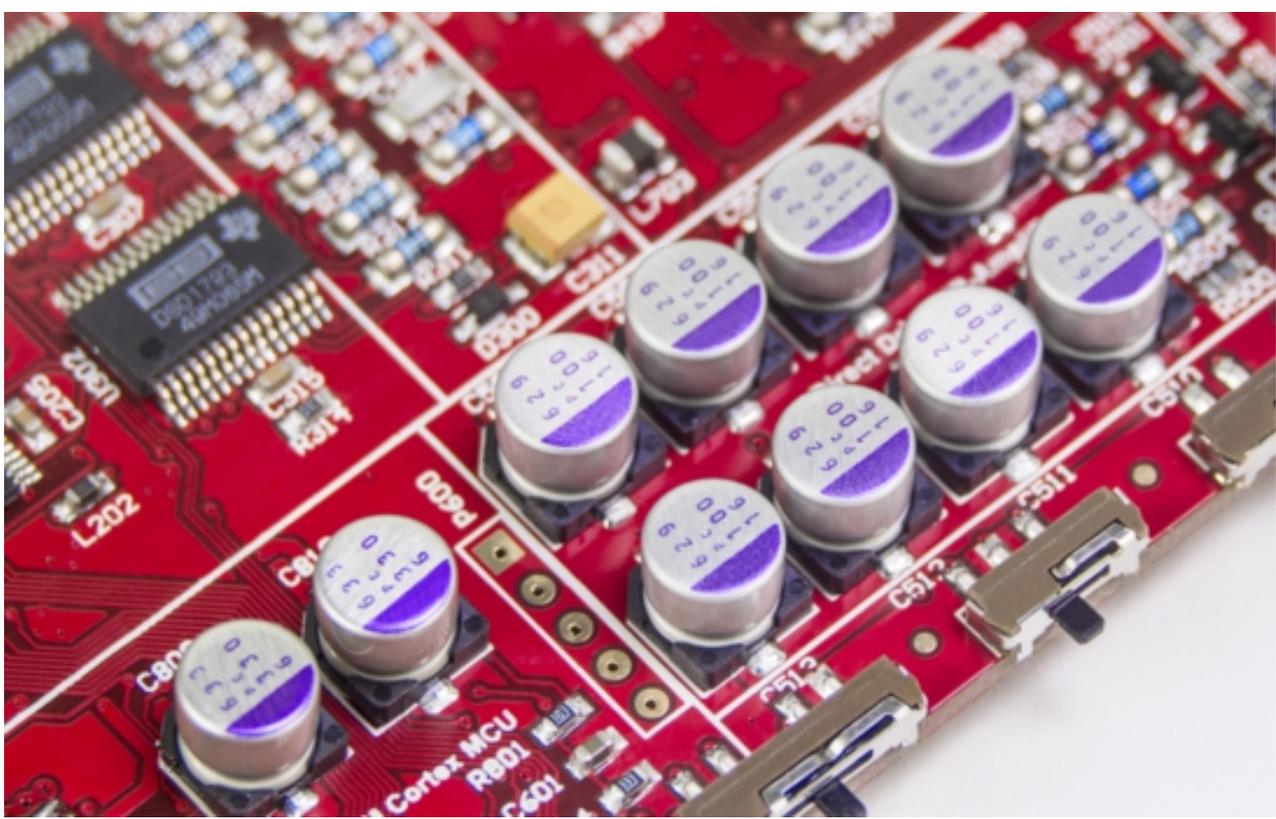
OS-CON



SANYO OS-CON、準備完了

Os-Con（導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ）はSANYO（現在はPanasonicが引き継いでいます）が開発したもので、長い間流通しています。電源に使用すると高い効果を示す高耐圧のキャパシター（コンデンサ）の中にあって、このSANYOのOs-Conは特別な位置を占めており、AMRのCD-77 レファレンス・クラスCDプロセッサーにも使われています。

ですから、コストは法外に高くついたものの（通常の電解コンデンサの10倍の値段です）、micro iDSD Black Labelはこれを使った初めてのUS\$1000以下の製品のひとつとなっているのです。



刷新されたキーデバイス（PCBオモテ側）

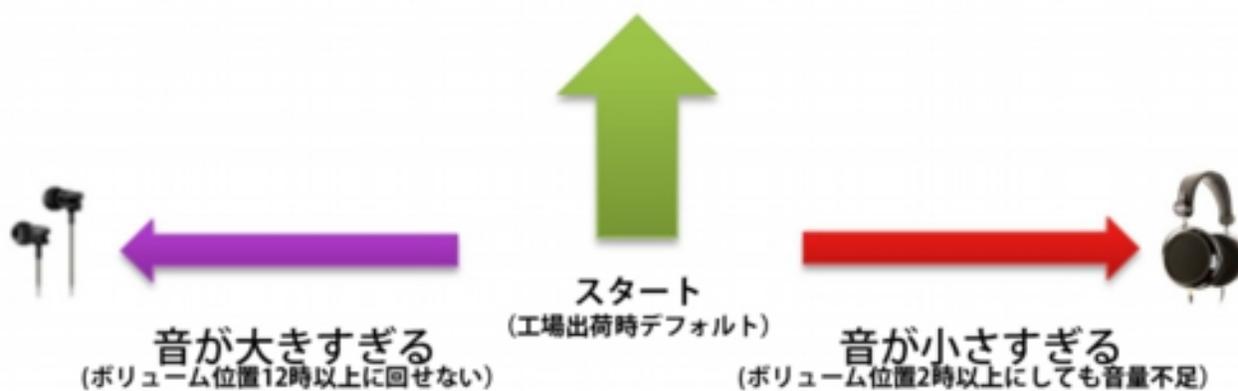
headamp *Turbo* ヘッドフォンをターボチャージ

Eco、Normal、Turboの3つの出力モードを選択することができます。内蔵のiEMatchと一緒に使用すると、micro iDSD Black Labelは、超高感度のゼンハイザーIE-800から、パワーを貪欲に要求するHifimanのHE-6に至るまで、パワーとゲインを完璧に合わせるすることができます。

“パーフェクトマッチ”仕様は、IEM（インイヤーマニター）から大型ヘッドフォンに至るまで、どんなヘッドギアに対してもファインチューンが可能であることを意味します。8v/4000mWの出力によってもっともパワフルなヘッドアンプのひとつになった本機は、最高のパワーを要求するヘッドフォンも、易々とドライブできるのです。

Power Mode				
Eco	Eco	Eco	Normal	Turbo

iEMatch				
Ultra Sensitivity	High Sensitivity	Off	Off	Off



光信号と同軸信号の両方に対応した巧妙な入出力端子

デジタル・オーディオ・プレーヤーとSPDIFを使用する音源は市場に溢れています。それに柔軟に対応できることが鍵となりますが、micro iDSD Black Labelは光信号と同軸信号の両方に対応したマルチコンボ入出力端子を備えています。



リチウムポリマー・バッテリー

莫大なパワーを必要とするHiFiManのHE-6からゼンハイザーのIE-800に至るまで、micro iDSD Black Labelはハイレゾ音源を6~12時間再生することができます。Micro iDSD Black Labelを使用中でなくても、サイドのUSBポートからiPhoneを0%から100%にまで二度充電する能力を持っています。

仕様

- フォーマットサポート: DSD512/256/128/64, Octa/Quad/Double/Single-Speed DSD(Native)
DXD(768/705.6/384/352.8kHz) Double/Single-Speed DXD
PCM (768/705.6/384/352.8/192/176.4/
96/88.2/48/44.1kHz)
 - デジタルフィルター切替: DSD (三段階) - Extreme/Extended/Standard Bandwidth, PCM (三段階) - Bit-Perfect/Minimum-Phase/Standard
 - デジタル入力: High-Speed Asynchronous USB 2.0 (32bit/768kHz)&SPDIF 同軸/光 (コンバーチブル)
 - デジタル出力: SPDIF同軸
 - オーディオ (アナログライン) 入力: 3.5mmミニプラグ
 - ヘッドフォン出力: 6.3mm標準プラグ
 - RCAラインアウト(2V "xed/2V-5V variable)
 - パワーアウトプット切替: Turbo (8.0V max/4,000 mW@16 Ohm)/Normal (4.0V/1,000 mW@16 Ohm)/Eco (2.0V/250mW@16 Ohm)
 - 内蔵バッテリー : リチウムポリマー 4800mAh
 - デバイス充電システム: USB BCP V1.2 compliant up to 1500mA charging current
 - 出力 (最大): <2W idle, 4W max
 - 寸法: 177(l) x 67(w) x 28(h) mm
 - 重さ: 310g (0.68 lbs)
-
- 保証 : ご購入から1年 (要保証書、または購入時レシート)
 - 標準的な小売価格 : 69,000円 (税別) /75,900円 (10%税込)
 - バーコード : 5081313081677 (EAN)



1-3. リアパネル



1. コンボSPDIF同軸/光入力・出力

このコンボSPDIFソケットは自動スイッチ式です。

USBオーディオ信号がある時 : - SPDIF出力 : 同軸

USBオーディオ信号がない時 : - SPDIF入力 : 同軸/光 (Toslink Mini-Plug) 入力

ヒント : ノーマルToslink光ケーブルに接続できるように、Toslink Mini-Plug → Toslink へのアダプターが同梱されています。

ヒント : SPDIFスタンダードがサポートするのは、192kHzまでのPCMだけです。

2. RCAライン出力

アンプ、レシーバー、ハイファイシステムなどに接続します。詳細は12.をご参照ください。

ヒント：底面のスイッチにより、“ダイレクトモード”または“プリアンプモード”を選択できます。“プリアンプモード”では、本機はDAC/プリアンプとして機能します（ユニットのパワーをオフにして選択してください）。

3. USB入力

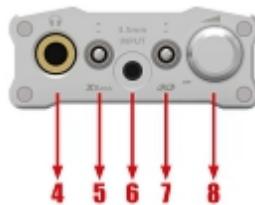
コンピューターからのUSBケーブルを接続します（ここから内蔵電池への充電も行われます）。

スマート機器（iPhoneなど）から接続する場合は、Camera Connection KitやLighting-to-USB Camera Adapterをご使用ください。

ヒント：本機をバッテリーパワーモードで使用するには、PCに接続する「前に」本機のスイッチをONにしてください。そうしないと、本機はUSBパワーモードで動作します。

ヒント：本機のUSB入力は、Apple Camera Connection Kit/Lighting-to-USB Camera AdapterまたはAndroid OTGに特別なアダプターを使わなくても接続できるように設計されています。

4-8. フロントパネル



4. 6.3mmヘッドフォンジャック

ヘッドフォンを接続します。

ヒント：IEM（インイヤーモニター）やヘッドフォンを初めて接続する時は、「かならず」ボリュームを9時以内にし、パワーモードを“ECO”にしてください。

5. XBass

XBassは、様々なヘッドフォンに対応できるように、低域のレスポンスを拡張するための独自の設計です。

- 低域の弱いヘッドフォン用
- ダイレクト

6. 3.5 mm入力

3.5mmジャックで接続される音源からのオーディオ信号をダイレクトに入力します（例：iPhoneの3.5mm出力など）。

7. 3Dホログラフィックサウンド

- ON
- OFF

3Dホログラフィックサウンド（ヘッドフォン用）：

- 一組のスピーカーを聴いているようなホログラフィックな音場を創りだします。
- 6.3mmヘッドフォンジャックが接続されている時に有効です。

3Dホログラフィックサウンド（スピーカー用）：

低域をスピーカーの外に出し、高域・中域と同じ位置に並べます。
- 6.3mmヘッドフォンジャックが接続されていない時に有効です。

ヒント：ヘッドフォン用3Dホログラフィックサウンドとスピーカー用3Dホログラフィックサウンドは、まったく異なるものです。それぞれのオーディオ出力用に専用の設計が行われています。

ヒント：音質的に障害となるDSPは、XBassにも3Dホログラフィックサウンドにも使用していません。代わりに最高品質のディスクリートコンポーネントを使用して、純粋にアナログ領域で動作させています。これにより、オリジナルの音楽が持つ明晰さと解像度が保持されるのです。

8. アナログボリュームコントロール

電源ON/OFFとボリュームコントロール

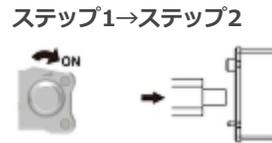
USB電源の場合

まず最初にコンピューターに接続し、その後に電源をONにしてください。



バッテリー電源の場合

まず最初に電源をONにし、その後にコンピューターに接続してください。

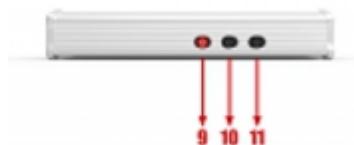


ヒント：バッテリー電源モードでは、後でUSBケーブルが接続されても、本機はバッテリー電源を使い続けます。

ヒント：AppleのiPhone、iPad、iPod Touch及びAdnroidの機器では、バッテリー電源をご使用ください。そうしないと、ご使用の機器からエラーメッセージが出る場合があります。

ヒント：Apple機器へ接続するには、Apple USB Camera Adapterが必要になります。Android機器へ接続するには、OTGケーブルと適切なOSサポート、及び外部デジタル出力に対応したUSB Audio Player Proのようなアプリケーションが必要になります。

9-11. サイドパネル



9. パワーモード

出力レベルは3つのタイプが選択可能です。これにより、もっとも能率の高いIEM（インイヤーモニター）からもっとも扱いの難しい低能率のオーバーイヤー型ヘッドフォンまで、様々なヘッドフォンをドライブできるのです。

バッテリー駆動時間の目安（典型的なヘッドフォンをバッテリーモードで使用した場合）

Eco= 能率の高いIEM：～14時間

Normal= 中程度の能率のヘッドフォン：～10時間

Turbo= もっとも能率の低いヘッドフォン：～6時間

ヒント：12.をご参照ください。パワーモードがダイレクトモード/プリアンプモードと連携してどのように使われるかを解説しています。

警告：初めて使用する時は、ボリュームコントロールが9時を越えないようにし、かならず“ECO”モードで開始してください。本機のヘッドフォンアンプは並外れてパワフルなので、まずこれで試すのが安全です。間違った使用でヘッドフォンその他に故障が生じても、弊社は責任を取りません。

10. 極性（位相反転）

音楽再生の信号の極性を変えることができます。これはデジタル音源にのみ有効です（つまり、3.5mm入力経由のアナログ信号には無効ということです）。

11. デジタルフィルター

以下が選択可能です。

DSD：Extrem/Extended/Standard Range (analogue)

PCM：Bit-Perfect/Minimum-Phase/Standard (digital)

DXD：Bit-Perfect Processing（固定）analogue

ヒント：PCMの場合は、聴取用にはBit-Perfectを、測定用にはStandardをお勧めします。DSDの場合は、聴取用にはExtreme/Extended/Standardのうちからいちばん音の良いものを、測定用にはStandard Rangeをお選びください。

12-13. 底面スイッチ



12. ラインダイレクトモード/プリアンプモード

ラインダイレクト：RCA固定出力（バイパス、フルボリューム）

プリアンプ：本機がDAC/プリアンプとして機能します。ボリュームコントロールはRCAライン出力で有効です。パワーモードと連携して使用すると、以下のゲインになります。

ECO = 0dB

Normal/Turbo = 6dB

ヒント：本機の電源をオフにして選択してください。

13. iEMatchスイッチ

iEMatchスイッチにより、最高に能率の高いインイヤーマニター（IEM）の感度にも合わせることができます。

Off

High Sensitivity（高感度）：高感度なIEM用

Ultra High Sensitivity（超高感度）：超高感度なIEM用

14. SmartPower

本機の側面に装備されているUSB“B”ポートは、スマート機器の充電に使うことができます。このSmartPowerはiPhoneやAndroid、あるいはそれに類する機器を自動的に感知し、充電を開始します。ただし、本機の電源をオフにした時のみこれが可能です。充電と音楽再生を同時に行うことはできないからです。

ヒント：USB接続できる機器ならどんなものでも充電可能ですが、タブレットのような大きめの機器では、SmartPowerのバッテリーが、充電はするものの、急速に消耗してしまいますから、こういった機器にはご使用をお薦めできません。

ヒント：MAC OSX（10.6以降）は、iDSDをビルトイン・ネイティブでサポートしています。

MS Windows（XP以降）をご使用の場合は、iDSDをコンピューターに接続する「前に」ドライバーソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

<http://ifi-audio.jp/DL/driver.html>

ヒント：最高の音質を得るには、コンピューターと再生ソフトウェアのボリュームコントロールを常に100%にセットしてください。

本体LED

電源ON時

マゼンタ DSD512 22.5/24.5MHz

ブルー DSD256 11.2/12.2MHz

シアン DSD128/DSD64 2.8/3.1/5.6/6.2MHz

ホワイト DXD705/768kHz

イエロー 176/192kHz DXD352/384kHz

グリーン 44/48/88/96kHz

グリーン（点滅） USB接続待機中

レッド 電池残量少

なし 電池切れ

電源OFF時

ブルー※ 充電中

※充電が完了するとブルーのLEDは消灯します。